

地域産業資源変更の内容

※新…新規追加 削…削除 地変…対象地域の変更 名変…名称変更

変更後			変更前	
(1) 農林水産物			(1) 農林水産物	
新	名称	地域産業資源に係る地域	名称	地域産業資源に係る地域
	いみずサクラ マス	射水市		サケ科では最も漁獲量が少なく希少な高級魚であるサクラマスの完全養殖に世界で初めて成功し、ブランド化。
	県産牛乳	富山市、高岡市、射水市、 魚津市、滑川市、黒部市、 砺波市、小矢部市、 南砺市、上市町、入善町		
	越のわたり蟹	射水市		「越のわたり蟹」として商標登録した高品質のわたり蟹。
	とやま牛	富山市、高岡市、魚津市、 氷見市、小矢部市、 南砺市、上市町、立山町、 入善町、朝日町、舟橋村		
	富山ブラック (枝豆)	射水市		射水市特産の黒大豆枝豆。「富山ブラック」の商標登録でブランド化。また、JGAP団体認証を取得。
万葉かれい	射水市		新湊産の上質なマコガレイをブランド化。	
地変	鶏卵	富山市、高岡市、射水市、 魚津市、砺波市、 小矢部市、南砺市、上市町	鶏卵	高岡市、小矢部市
	富山の大麦	県全域	富山の大麦	富山市、高岡市、射水市、 魚津市、滑川市、 黒部市、砺波市、 小矢部市、南砺市、 上市町、立山町、 入善町、朝日町、舟橋村
	とやまポーク	富山市、魚津市、氷見市、 滑川市、黒部市、砺波市、 小矢部市、南砺市、立山町	とやまポーク	富山市、南砺市
(2) 鉱工業品又は鉱工業の生産に係る技術			(2) 鉱工業品又は鉱工業の生産に係る技術	
	名称	地域産業資源に係る地域	名称	地域産業資源に係る地域
新	つくるUOZU GAMES	魚津市		魚津市が「つくるUOZUプロジェクト」実行委員会を設置し、ゲームクリエイターを育成支援するため、当該プロジェクトにて開発されたゲームを「つくるUOZU GAMES」(11タイトル認定)として、一部一般販売。
	砺波の民具	砺波市		明治からS30年代までの砺波地方で営まれた衣食住などの道具類。「砺波の生活・生産用具」として国の重要文化財に6,900点指定。
	富山県産材	県全域		
	増山城 蔵蕃そ ば	砺波市		梅壇野地区で栽培するそば粉100%使用の十割そば。砺波市梅壇野地区の住民有志でつくる会社で、増山の古民家を改装したそば店が提供。となみブランドとして認定。

(3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

	名称	地域産業資源に係る地域
新	魚津水族館 (魚津水族博物館)	魚津市
	海の駅 蜃気楼	魚津市
	かいによ苑 (旧金岡家住宅)	砺波市
	かみわたりよくち 上和田緑地・ キャンプ場の 桜	砺波市
	木村産業株式会社社屋	砺波市
	ちゅうえつぎんこう 旧中越銀行本店	砺波市
	旧中嶋家住宅	砺波市
	ごかだわ 五ヶ種チョン ガレ踊り	砺波市
	左義長	砺波市
	しょうがわごうぐちえんでい 庄川合口堰堤	砺波市
	庄川大仏	砺波市
	庄川のエドヒ ガンザクラ群 生地(砺波 嵐山)	砺波市
	じょうふくじ 常福寺	砺波市
	せんこうじ 千光寺	砺波市
	たぢかごえ おほら 田近越・小原 越	小矢部市
	だんのじょう しょうの 檀城(庄 城)	砺波市
	ちゅうえつべんけいごう 中越弁慶号	砺波市
	なかすじおうらい 中筋往来の石 仏群	砺波市

(3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

名称	地域産業資源に係る地域
江戸時代末期に建てられた屋敷林「かいによ」がある旧金岡家住宅で砺波平野散村地帯の典型的な大型農家住宅で、砺波市指定文化財。	
増山城跡周辺を散策すると増山湖の景色を楽しめる砺波市唯一のキャンプ場にある花見スポット。とやま桜の名所70選。	
昭和初期に建てられた鉄筋コンクリート構造の3階建て社屋。建物正面ファサドの三連アーチ、唐草模様やライオンを描いたレリーフといった西洋建築様式の装飾は、今も当時そのままの姿で残っている。とやま文化財百選。	
砺波地方の地主層の発起で設立した銀行。明治時代の建築の中でも洋風を取り入れた木造土蔵造。S18年北陸銀行に統合。S54年解体移築復元。砺波市指定文化財。	
中嶋家は代々村の代表である肝煎を勤める家柄。江戸時代中期に建てられた砺波地方の散村農家建築の遺構として貴重な存在で、砺波市最古の建築。砺波市指定有形文化財。	
郷土芸能。種初 <small>むねはつ</small> の発祥として知られた五ヶ地区で稲穂を買いに来る種替 <small>むねかへ</small> さんで賑わう情景を読み込んだ盆踊り。砺波市指定文化財。	
砺波平野を貫流する庄川に点在していた用水の取水口を集約(合口化)するためS14年に建設。10門のラジアルゲートを持つ鉄筋コンクリート造り。国登録有形文化財。	
コンクリートでできた珍しい大仏。別名「金屋大仏」といい、コンクリートで隆盛した庄川の歴史を今に伝える文化遺産。砺波市ふるさと文化財。	
春には庄川の小牧発電所対岸から下流弁財天対岸までの庄川右岸、通称「向山」の山腹に、百数十本の自生エドヒガンが春を飾る。雪の多い北陸の山中に、このように多く自生しているのは大変珍しく、貴重な自然景観資源であり、庄川右岸の三条山は、京都嵐山の景色に似ていることから「砺波嵐山」と呼ばれている。砺波市指定文化財、富山さくらの名所70選。	
真宗大谷派の寺院で創建は不詳。寺宝である木造阿弥陀如来立像は鎌倉時代初期に湛慶によって制作されたといわれる古物。国指定文化財。	
飛鳥時代(703年)天竺の僧、法道上人の開基と言われる古刹で、江戸時代には加賀藩の保護を受けた。	
中世から続く加賀と越中を結ぶ道。戦国時代末期には道筋に山城が対峙するように築かれ、佐々成政と前田利家による加賀国境の攻防の緊張を伝える。文化庁歴史の道百選。	
壇城は室町時代から戦国時代に、庄川右岸の雄神橋東詰の山中にあった壇城の城跡と考えられる。現在は水田になっている。「壇城跡」として砺波市指定文化財に指定。	
ドイツのナスマ・ウィルソン社 M29年製の機関車で、中越鉄道が創業時に輸入し、甲1形3号として登録した車両の通称。M30年からT13年まで客車・貨車の牽引に携わった。砺波市指定文化財。	
江戸時代末期に庄川町青島から中野、大田までの約6kmにわたり、西国三十三ヶ所観音霊場にちなんで建てられた石仏群。砺波市ふるさと文化財。	

	にまんしちせんごく 二万七千石 ようすいとりにれくちあと 用水取入口跡	砺波市	赤石付近に川倉を組んで導入堰を設け、赤石を中心に流れが直角に交わる自然立地を巧みに利用し導水した取入口。S14年合口ダムの完成により廃止。砺波市指定文化財。
	にゆうどうけじゆうたく 入道家住宅	砺波市	屋敷林を備えた大規模民家(1853年建設)。大規模ヒロマ型農家の代表例で、保存状況が良好、砺波平野の散居村に多くみられるアズマダチ建築の典型例。とやまの文化遺産。
	はんにかのしょうかんけい 般若野荘関係 しせきやくしやう 史跡(薬勝 しんのおつか 寺、親王塚、 くぎやうつか 公卿塚)	砺波市	中世に般若地区辺りは「般若野荘」と呼ばれ、京都の徳大寺家の荘園が展開されていた。武家勢力の伸展に伴い荘園経営は次第に困難になり、京から越中に下向するも、1545年に現地で従者ともども殺害された。薬勝寺の墓地の中央に徳大寺実道を葬ったのが親王塚、薬勝寺の南にはその従者の墓である公卿塚がある。一部、砺波市指定文化財。
	べんざいてんしや 弁財天社 もとおがみ (元雄神神 社)	砺波市	庄川流域の治水の水神を祀る神社。1585年の大地震の影響で庄川の流れが大きく変化し神社の境内以外周囲の村が流されるという大災害があり神社は東側山裾に移転。前田利長が残った神社を見て水的神である弁財天も祀ると指示し弁財天を祀る元雄神神社として建てられた。砺波市指定文化財。
	北陸道・倶利伽 羅峠越	小矢部市	小矢部市と津幡町を結ぶ約10kmの山道。加賀藩の参勤交代道、源平の合戦、平家物語、奥の細道行脚芭蕉が歩いたこととして知られている。文化庁歴史の道百選。
	ほりけ 芳里家住宅	砺波市	砺波平野に広がる散居村に見られる典型的なアズマダチの住宅。M14年頃建築。国登録有形文化財。
	まつかわよけ 松川除堤防と おんかわよけ 御川除地蔵	砺波市	江戸初期、加賀藩が巨費を投じて築いた治水遺産。1585年の大地震後、庄川の治水と砺波平野の開発を進めるため現庄川の一本化を図るがしばし切れたため、1807年に根固めのため松が植えられたことから地元では松川除と呼んだ。また、御川除地蔵は松川除の安泰を願って造られたとされている。砺波市指定文化財。
	ミラージュラ ンド	魚津市	
	やすかわじやう 安川城	砺波市	般若野荘の役人(荘園の荘管)黒田太左衛門尉が立てこもった中世山城。鬼ヶ城、浅野谷城ともいう。砺波市ふるさと文化財。
	山田文作像	砺波市	上海事変で戦死した山田文作氏の供養のために建てられた忠魂碑。息子が戦死したことを悼んで母が依頼。当時貴重であったコンクリート製で、小牧ダムで潤った時代背景や鏤絵職人として竹内源造のレベルの高い技術を目の当たりにすることができる。砺波市ふるさと文化財。
地変	獅子舞	高岡市、射水市、 <u>魚津市</u> 、 氷見市、砺波市、小矢部市	獅子舞
名変	路面電車	富山市	富山ライトレール
	東山円筒分水 槽	魚津市	魚津市
			正式名称への修正